

2014秋の全国

三刀屋高校発

2015夏の全国



10/18

バスケットボール

長崎がんばらんば国体

国体バスケットボール少年男子の島根選抜は1回戦で長野選抜と対戦し、本校の和田翔さん(3年)が先発出場。第2Qまでは上背のある長野に対して37対39と互角の勝負が続いたが、後半はオールコートマンツーマンを取る長野に攻撃を封じられて徐々に点差を広げられ、最後は70対88で初戦突破はならなかった。(高さを生かした長野選抜は、今大会ベストエイトの強豪)

和田さん先発出場

和田翔さん(3年)が先発出場。第2Qまでは上背のある長野に対して37対39と互角の勝負が続いたが、後半はオールコートマンツーマンを取る長野に攻撃を封じられて徐々に点差を広げられ、最後は70対88で初戦突破はならなかった。(高さを生かした長野選抜は、今大会ベストエイトの強豪)



大学入試センター試験まであと2か月

10月

三高日誌

放課後、大講義室で勉強するようになったのですが、皆がとても静かに勉強しているの、カバンのチャックを開けたりドアを閉めたりするのが申し訳なく思います。大講義室は家とは違い、とても集中できるので頑張ろうと思います。(今日は月食がおこる)



全国高等学校総合文化祭 滋賀大会へ出場決定

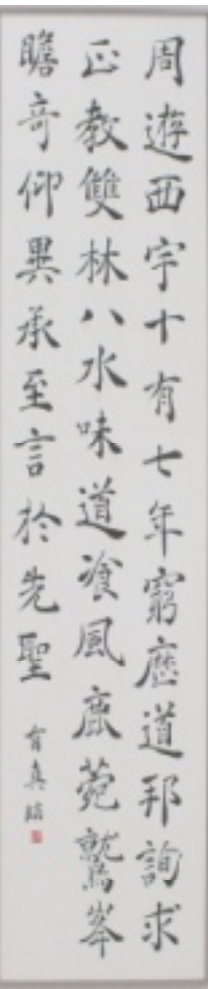


↑三刀屋高校書道部出品の力作5点 奨励賞に神田さんの「深」 (写真中央)

標記書道展には県内23校から186点、本校からは5点が出品され、一、二年生の作品から選出される次年度全国高等学校総合文化祭出品推薦作3点の内に、本校の妹尾有真さんの作品が選ばれた。書道部としては3年ぶりの快挙。妹尾さんの作品は、中国唐代に褚遂良(ちよすいりょう)が著した「雁塔聖教序(がんとうしようぎようじよ)」の一節を縦240cm、横60cmの紙にあらわした大作。このほかの受賞結果は次の通り。

- 奨励賞 神田亜林(2年)
- 入選 廣澤真奈(2年)
- 入選 西村美夏(1年)
- 入選 黒目麻友(1年)

臨雁塔聖教序



(「2015滋賀びわこ総文」出品推薦作品)

妹尾さん(1年)が県代表に／三高勢3年ぶり

書道

第47回島根県高校書道展

(10/23~26、県立美術館)

女子ソフトボール部は2015春の全国選抜へ(4面参照)



「開眼賞」も受賞

また、妹尾さんは島根県書道教育連盟書道誌『開眼』の夏季誌上展で、漢字科高校一年生最高の開眼賞を受賞して準九段となり、二重の喜びとなった。

【妹尾さん喜びの声】

思いもかけない開眼賞に、最初びっくりしましたが、だんだんと嬉しさが込み上げてきました。家族も一様に驚き、そして喜んでくれてます。本当にありがとうございます。

▼10月8日(3年△組)



MITOYA 島根三刀屋 県立高校

蒼雲

学校だより 第89号

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL: 0854-42-8133
FAX: 0854-42-8155

夢を語ろう
三高で!
君の夢を叶える
島根全県区
の三刀屋高校です

つながろう三高 つながろう雲南

如己愛人

求められる
アクティブな活動
半世紀前の11月、
ジョン・F・ケネディ
が凶弾に倒れた。彼
は大統領就任演説の
中で「国があなたのために何
をしてくれるかではなく、あ
なたが国のために何ができる
かを考えようではありません
か。」と語りかけた。国家が
国民に対する責務を放棄した
言葉では決してない。国民が
アクティブ・シチズン(社会
に積極的に参加する市民)で
ある必要を説いたのだ▼そし
て現代日本、少子高齢化や人
口減の問題が深刻に語られる
今ほどケネディの言葉の重み
を感じる時はない。▼爽りの
秋は、雲南市内でも各地で様々
ないイベントが繰り広げられて
いる。財政難から運営の台所
事情は苦しいことと予想され、
活動を支える若者の絶対数に
不足感もあるかもしれないが、
知恵を出し合い、人の輪を広
げ、運営する側も楽しみつつ
活気づくイベントが増えてき
たように感じられる▼イベン
トだけではない。唯一の商店
が今春消えた掛合町波多地区
では、この秋に住みみずから
が新たに店舗を開設して地域
を元気づけた▼単なる無いも
のねだりでは何もかもが沈
滞するだけだ。アクティブ・
シチズンに学ぶ姿勢は、学校
生活にも求められる。三高総
合学科でのキャリア教育は、
地域で生き生きと輝くカッコ
イイ人に刺激を受けながら、
勉学にも課外活動にも、より
アクティブな活動を求めている。

(編集長記)

三刀屋高校総合学科2年次は 進路目標に沿った課題研究を深めます

YOUは何しに東京へ?

三高生

(東京研修の意義)

「地域創生」という言葉を安部首相が掲げ、これから地域の活性化や若者の活躍する場を設けることなどに力が注がれていくことになるようです。「地域課題」に目を向けて、それを解決していくためにどうすればよいか考えることは、本校の「産業社会と人間」や2年次以降の「課題研究」でも取り入れています。「地域課題」について考えるとき、地域だけに目を向けて解決の糸口が見つかるのでしょうか。「地域課題」を考えることは、日本や世界の課題を考えることに通じている、という視点も忘れてはなりません。「ローカル」な視点と「グローバル」な視点は、どこかでつながっています。そのような両極端と思われる視点から、物事をとらえたり、課題テーマについて考えていくなど、多面的に物事をとらえることが、高校を卒業してからも必ず役に立ちます。実習や自主研修では多くの体験をしたり、様々な方々の話を聴くことになると思います。様々な視点から物事を見ることの大切さを実感してもらいたいと思います。

(キャリア教育担当：門脇記)

宿泊	ホテル フロラシオン青山 (港区)
	国立博物館視察
1日目	イブニングセミナー (写真右) 講師：古林秀之氏 東日本旅客鉄道株式会社 (JR東日本) (三刀屋高校4 6期卒業生)



	進路志望別研修→	午前の研修先	午後の研修先
2日目	文系4年制大学	東京大学	国会
	文系短大 (保育・栄養)	東京学芸大学	Jプレゼンスアカデミー
	就職・専門学校	NHKスタジオパーク	JICA地球ひろば
	医療系	聖路加国際大学	国際労働機関 (ILO)
	工・情報学系	東京工業大学	ANA機体整備工場



東京国立博物館を視察



東大生から学生生活を聞く

学問系統	小系統	1学期に設定したグループ別の課題研究のテーマ例
幼児教育		東京と雲南の保育園の課題とその改善策
理学・農学		雲南の林業の現状を調べる
医療・保健	リハビリ	安心して老後生活が送れる環境を作るには
専門学校	調理製菓	地域で実現できる食の可能性
看護		島根県の医療人材について
社会科学	マスコミ	面白い情報提示の仕方
医療・保健	薬学	薬の飲み合わせ
社会科学	法学	裁判員制度を身近にする為にはどうすれば良いか
人文科学	文学	雲南市の中高生の本離れについて

※上の課題研究テーマに基づいて、研修3日目の訪問先を2か所ずつ、生徒自身で考えました。

3日目：班別自主研修の訪問先 (一部)

アゴ取り (研修受け入れ交渉) も生徒が行っています

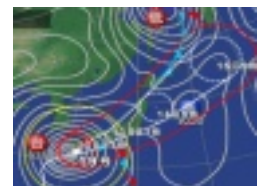
班	午前の研修先	午後の研修先
3	東京家政大学	丸の内 タニタ食堂
4	日本銀行	東京証券取引所
5	小学館アカデミー南青山保育園	青山学院女子短期大学
6	厚生労働省	日本社会事業大学
9	アシックスストア	デサント
11	ミズノ	日本体育大学
12	日本学生支援機構	東京外国語大学
13	ココロライズジャパン ロダック	森永乳業
14	ベネッセコーポレーション	おもちゃ美術館
15	服部栄養専門学校	お菓子ランド
16	山野美容専門学校	PIZZICATO
17	日本ユニセフ協会	キャップクリニック代官山T-SITE
18	東京都環境局	日本科学未来館
19	警視庁	荒川区防災センター
20	読売エージェンシー	にほんばし島根館
23	法務省	東京地方裁判所
26	品川区教育委員会	文部科学省
27	日本看護協会	東京大学大学院医学研究科
30	環境省	東京農業大学
32	初台リハビリテーション病院	美竹の丘しづや特別介護老人ホーム
34	東京警察病院	日本赤十字社医療センター
35	星薬科大学	Daiichi Sankyo くすりミュージアム

全国の総合学科が驚いた三高の自主研修



↑最終日の4日目は、最高のホスピタリティ (おもてなしの心) をモットーに躍進する東京ディズニーランドを視察、というよりは満喫しました。

で予定通りの研修となった。また、東京では深夜に台風が通過し、翌朝は快晴の下が通過し、翌朝は快晴の下



の10月13日(月)は大型台風19号の接近で搭乗予定の飛行機運休が懸念された。

折り通じた出発 10/13 出発当日

外部アドバイザーを迎えて 中間発表の準備

4日間の研修を終えた翌週から、2年生は今回の東京研修を踏まえて課題研究の中間発表(本日開催)の準備を進めた。

10月24日には雲南市産業振興部産業推進課と島根大学から計3名の、11月4日には島根県商工労働部(2名)・雲南市(2名)・島根大学(3名)、NPO法人おうちラボ(1名)の外部アドバイザーをお招きして助言をいただきながら、各2時間をかけて報告のまとめ作業にあたった。

2年

東京研修(3泊4日)に行ってきました

三刀屋高校総合学科1年次は 週2時間の授業「産業社会と人間」を通して自己を知り、将来を考えます



※ 島根県東部の全各市町と接する雲南市。ここは現代出雲国の中心 !!

三高新時代への胎動 地域とともに



シリーズ 地域産業研究 実習 第6回 (事業所インターンシップ)

1年 全67事業所に分かれて3日間の体験実習

地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校 (平成25~27年度、県教委指定)

2年生の東京研修と時期を同じくして、1年生は「地域産業研究」実習(事業所インターンシップ)を10月15日(水)から3日間実施しました。進路志望に沿った関連する事業所に出雲市、松江市を含む全67事業所(学校、福祉施設等を含む)のご協力を得て実施しました。



この時期は、小学生の企業見学や中学生のインターンシップも多く、地域の皆様のご理解と協力があった実現したプログラムです。改めて厚く御礼申し上げます。

『進路だより』9・10月号(10月24日付け)を合わせてご覧ください。

【学級日誌(10/22)より】
産社(一年生の授業「産業社会と人間」のこと)では、パワーポイントでの発表があるので、それに向けてレポートを完成させておきたいです。インターンシップでいろんなことを学べて良かったです。
※インターンシップを振り返る各クラスでの発表会を経て、12月にはクラス代表が学年全体会で発表します。

※田舎はあれも無いこれも無いと言わないで!!何でも無いアレがお宝の山かもしれない!!

三高生に期待する3現主義

インターンシップでの経験が、将来の夢を描くきっかけになったか、地域を見つめ直し、地域に一層興味関心を持つきっかけになったかが肝心だが、地域振興を考える際は高校でも大学でも「3現主義」に傾注したい。
企業経営の理念として唱えらるる「3現主義」は、地域振興を考

▼タダの葉っぱが町を変えた
マスコミでしばしば取り上げられて有名となった徳島県の上勝町。高齢化率は全国でもトップクラスの約50%だが、独特のビジネスで年収一千万円を超える農家のおばあちゃんもおり、現在では80代や90代のお年寄りがパソコン、タブレットを駆使する町としても有名

田舎の集落を潤したのが「葉っぱ(つまもの)ビジネス」である。付近の山で「無料(タダ)」で手に入る「軽い」葉っぱを全国の高級料亭に卸し、日本料理を美しく彩る季節の葉や花を日々の市場をにらみながら出荷して全国一のシェアを保持している。地域をあげて

このビジネスに取り組んだ最初が上勝町だった。今後の地域の活性化には、こうした先進事例を生んだきっかけや背景を学ぶことも無駄ではないはずだ。どこにでもあるありふれたモノの中に、地域の将来を託すお宝が眠っているかも。そんな柔軟な発想を、地域は若い世代にも期待している。

「現実」を認識した上で具体的に問題解決を図らなくてはならない。県内各地で地域コーディネーター役をつとめる島根大学教育学部の作野広和教授は、過疎地の住民の中から「今の暮らしで何の不自

由もない」との声も耳にすると、う。それも現実であり、背伸びをしすぎた無理強い振興策では、所詮は長持ちしないだろう。右に紹介した「葉っぱビジネス」は先を越されたが、地域を愛し地域に関心を持つ、見えてくる夢がきっとあるに違いない。

三刀屋高校総合学科でのキャリア教育は10年間の試行錯誤を重ねつつ、実際に生活する地域・現場との関係を生徒に意識させるプログラムを構築・展開してきました。
今年度からは目指す生徒像として「社会に役立つ」とする意欲を持つ生徒を加え、地域貢献に一層意欲的な生徒の育成を目指しています。

雲南市教育フェスタ2014

11月8日(土) 三刀屋高校では

本日

- 1年生 産業社会と人間「授業『大学』」14:05~15:45
内容…島根大学の学生30名による「理想の自分探し」講座
- 2年生 課題研究 中間発表 14:05~15:45
内容…班別に設定したテーマについて研究した成果の中間発表(ポスターセッション)

今号の結果記事は10月31日分までです



熱戦の球技大会 1年生の健闘光る

10/28

天候にも恵まれ、男子はサッカー・バスケットボール、女子は卓球・バスケットボールにクラス対抗で熱戦を繰り広げた。各学年を制したクラスが、最後は学年の壁を越えて決勝トーナメントを戦い、上級生に遠慮しつつ、卓球を制した飯塚菜々美さんのように、1年生の健闘が光った(上級生の思いやりか?)。大会結果を参考に、1、2年生の上位進出クラス・選手が11月5日に本校とアスパルを会場に開催される雲南地区



野球

出雲地区1年生大会

初回の失点惜しい準優勝

10月本校

野球の出雲地区1年生大会が先月開催され、三刀屋が準優勝を飾った。

出雲工業、出雲西との対戦では投打がかみ合って常に三刀屋が先行し、ともに大差をつけて勝ち上がった。

▽1回戦(10/18)

三刀屋⑬・2出雲工業

(5回コールド)

▽準決勝(10/25)

三刀屋⑫・6出雲西

▽決勝

三刀屋0・③大社

※準優勝

決勝戦では初回に大社に3点を献上したものの、その後

は両校ともに決定打を欠いてゼロ行進。そのまま試合終了となって準優勝に終わった。夏以降の出雲地区大会、県大会でも最後は僅差の勝負が続いた。着実に力を備えており、来春が待ち遠しい。

柔道

県高校新人戦

(10/24~25、石見武道館)

現在の部員(男子)は、団体に出場できるギリギリの

ソフトボール

県高校新人戦

(10/25~26、江津高校)

女子祝

6連覇

来春の全国選抜大会出場へ 最終回逆転で優勝

▽準々決勝

三刀屋⑨・0松江商業

(5回コールド)

▽準決勝

三刀屋⑬・1大社

(5回コールド)



→平成の牛若。このあとゴールが決まったか否かは不明。

高体連体育大会に出場する。

ソフトテニス

県高校新人戦

(10/24~26、石見海浜公園)

▽男子

▽団体1回戦

三刀屋②・1益田翔陽

▽団体2回戦

三刀屋1・②松江北

▽個人

梅木大喜(2年)・小池祐介(2年)ペア

※4回戦進出(ベスト32)



撮影：恩田校長

12月の県高校インドア選手権への出場権を獲得

▽団体1回戦

三刀屋1・②隠岐

▽個人

上位進出ならず

▽決勝

三刀屋00000004

大東100000001

新チームは9月の県高校選

手権以来すべての試合で5回

コールド勝ちを続けていたが、

今大会決勝の対大東高戦では

初回に許した1点が重くのし

かかる展開に。それでも最終

回はヒットに相手エラーが絡

んだ4得点で逃げ切り、見事

6年連続の優勝を手にした。

三嶋監督は試合後、「辛く

も逆転できた。一つのチャン

スをものにする力をきちんと

つけて、さらに上を目指した

い。」と語った。

女子は11月4日から岡山県

で開催される中国新人大会に

出場するとともに、来年3月

に山口県で開催される全国選

抜大会への出場権を獲得した。

▽男子

三刀屋002020004

安来0020006x8

助っ人選手1名を借りて出

場した三高が先行する展開たっ

3名とあって普段の練習も厳しい状況にある。今大会では

クジ運も悪く予選リーグ突破はならなかったが、まずは個人戦での上位進出をめざして頑張ってもらいたい。

▽男子

▽団体戦予選リーグ

三刀屋0・⑤平田

三刀屋1・③益田翔陽

▽個人戦

上位進出ならず

三高ロード走



2学期前半の体育の授業では、学校を出発して桜並木が続く三刀屋川兩岸の河川敷公園を回って帰る約3.2kmのロード走を行っている(6回)。以下は今年の最高記録男女ベスト5。

▽女子

1位 遠藤 梨乃(2年)

※12分58秒

2位 陶山日奈子(2年)

3位 周藤奈乃璃(1年)

4位 細貝みどり(2年)

5位 渡部ほのか(2年)

▽男子

1位 藤原夏望(3年)

※10分59秒

2位 飯塚悠斗(2年)

3位 児玉竜哉(3年)

4位 石田 豪(3年)

5位 小池理久(2年)

たが、6回に四死球が絡んで大量6点を献上し、県選手権の雪辱はならなかった。

写真

高文連秋季写真コンクール

(10/17、ビッグハート出雲)

標記コンクールには県内30校311名の写真部員から1600点を超える応募があり、本校からは以下の皆さんが入賞を果たした。

- ▼特選
富田佳菜子(2年)
「小さな背中と大きな希望」

- ▼入選
荒金恵美(2年)
「水」
加本奈央(1年)
「ひっそりと」



特選 富田佳菜子(2年)
「小さな背中と大きな希望」(デジタルカラー写真)

- 毛利奈緒(2年)
本田理奈(2年)
藤原蘭琳(2年) 2点
廣戸愛栄(1年)
小池ななみ(1年) 3点
板持乃野可(1年)

出雲大社で絵画コンクール
10/24



【景山大輝(2年)さんの作品】全体講評の中で、審査の先生から特別に講評をいただいた作品。出雲大社東側の出雲教(国造北島家)に通じる路地の静けさが伝わる。青を基調として構成された作品は、景山さんのフィルターを通した世界観がよく表現されている。



出雲大社拝殿近くで絵筆をとる本校美術部員。

出雲地区10校から111名が参加

美術

高文連出雲地区絵画コンクール

出雲地区10校の美術部員111名が参加した標記コンクールが10月24日に開催された。好天に恵まれた当日は、出雲大社境内を中心に各自が思い思いの場所にキャンパスを構え、10時過ぎから昼食を摂り、美質4時間ほどで風景画を仕上げた。

箏曲

高文連日本音楽部門コンクール

(10/31、ビッグハート出雲)
今年で13回目を迎える高文連日本音楽部門の島根県コンクールには5校が参加した。三刀屋高校から参加した1年生部員5名は高校入学時は

全員が初心者だったが、わずか半年の練習でコンクール出場を果たした。演奏曲は坂本勉作曲の独奏曲「さすらい」を第二面と十七絃の三重奏曲に編曲したもので、原曲の持



島根県高等学校文化連盟
第13回日本音楽部門コンクール

演奏曲: 「さすらいの主題による三重奏曲」

つオリエンタルな雰囲気躍動感が増した。他校の先生か演奏しきった。

保育実習

10月23日、24日の放課後、幼児教育を志望して選択授業園児と交流した。

「発達と保育」を履修する3年生を中心に、5名が高校近くの三刀屋保育所を訪問して園児と交流した。

雲南市青少年海外派遣等交流事業

8月

雲南市青少年海外派遣等交流事業実行委員会が主催する今年度のリッチモンド・サマー

スクールには本校からも3年生2名が参加。8月10日から13日間、米国インディアナ州リッチモンド市でホームステイを含めた交流・研修活動を行いました。

前号でその様子をお伝えするはずでしたが、紙面の都合で割愛させていただきました。現地での動向は雲南市報10月号に詳述してありますので、ぜひご覧ください。今回は参



▼室下月美さん
今回学んだことは、自分から積極的に行動することの大切さでした。何もしないと状況は変わらないので、多少の失敗はあると思いますが、この経験を機に何事にも前向きに取り組んでいきたいです。
▼周藤瑠奈さん
毎日が充実してとても楽しく、何より一生に残る思い出ができました。文化や生活の違い、お互いの国の良さを自分自身で体験することができて良かったです。この貴重な体験ができたことに感謝し、これからの糧にしていきたいです。

10月26日(日) 三刀屋文化体育館アスパル

この日は市内各地で秋のイベントが開催されていきました。日が重ならなければ他地区でも演奏できるかもしれません。



雲南の秋を彩る 三高サウンド!!



一足早いハロウィンの仮装? 司会進行↑ありがとうございました

↑三刀屋小学校の児童と一緒に妖怪体操を披露。高校生はやや疲労さみ?

箏曲

1年生部員のみ

吹奏楽

「第10回ななかまどフェスタ」にも出演

わずか半年の練習とは思えない凛とした演奏



箏曲部と吹奏楽部は10月26日(日)、三刀屋文化体育館アスパルで開催されたイベント「みとやっこまつり」でステージ出演した。一年生部員5名でのぞんだ箏曲部は、翌週のコンクールで演奏する10分余りの「さすらいの主題による三重奏曲」(坂本勉作曲、江戸信吾編曲)を披露。高校入学後に始めたわずか半年の練習とは思えない凛とした演奏に、会場から大きな拍手がおくられた。また、同日のお昼前に吉田町の「ななかまどフェスタ」に出演した吹奏楽部

本校美術部員だった(写真下)。

美術

ステージの幕閉には、永井隆平和賞にあわせて募集された国際平和ポスターコンテストの表彰式が行われた。主催する三刀屋ライオンズクラブの依頼でポスターを審査したのは

発表の大トリを飾った。

吉田町の皆さん、ありがとうございました



ステージ後方のフロアでは各種文化作品の展示。三高生の作品も目にしました。

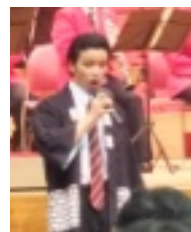


三刀屋太鼓キッズも本体に負けない位カッコイイぞ



三刀屋中学校吹奏楽部も息の合った演奏を披露。「ふるさと」の演奏に涙が出そうでした

引っ張りダコです!! 吹奏楽部は
今月16日、中野地区文化祭にも出演!



10月28日、錦織良成監督がEXILEのHIROさんと映画『たたら侍』の制作発表！三高も『たたら侍』を応援します



島根県企業局東部事務所西側の飯梨川(河口から約4km上流)は、上流に布部ダムが竣工した45年前の飯梨川の旧河床面。現在は河床が3m近く下がり、さらにその下の2mの集水埋管から取る伏流水の水質への影響も心配されるようになってきた。

「たたら製鉄が終焉を迎えた大正末期以降、鉄穴流しによる砂の流出が激減して河床が低下し、

「砂の堆積から浸食へ(後編)」
流砂激減による河床低下と河川内環境の悪化

斐伊川今昔物語 第5回

ていることを本紙87号で紹介した。砂の流出が激減したのは鉄穴流しが行われなくなったことが大きな要因だが、先の広島市での土砂災害であらためて注目された砂防堰堤(ダム)の建設効果も大きい。

斐伊川上流部に小原ダムが完成した今、斐伊川では一層砂の流出が抑えられることとなった。今後、下流



大森町の来待川(同流が流れる状態)。下流には雑草や樹木が繁茂した状態。



域でどの程度の河床低下が予想されるのか、本紙は具体的な予想数値は

【砂防堰堤(ダム)の例】斐伊川の支流大馬木川の景勝として知られる奥出雲町の「鬼の舌震」では、下流側に観光遊覧船が浮かんでいた。しかし、その更に下流に発電取水用を兼ねた高尾堰(ダム)が建設され、あつと言う間に土砂が堆積して河床が上がると、昭和50年代には観光船の姿も消えた。砂防堰堤(ダム)による土砂流出防止の効果は大きい、すでに満砂状態となつて洪水の心配が懸念される堰堤も多い。

持たないが、参考となる飯梨川の事例を次に紹介する。斐伊川水系の一級河川で安来市を流れる飯梨川の上流に昭和43年、多目的ダムとして布部ダムが完成した。飲料用、農業・工業用のほか発電も目的とした多目的ダムだが、砂防の役目も備えている。上流から流れ出した土砂はダム湖内に貯められる一方、砂の補給が減った下流域では上の写真で紹介するように浸食による河床低下が著しくなった。

こうした状況は、ダムや堰堤(いわゆる砂防ダム)が増加すると並行して、斐伊川水系の各河川でも同じように見られる。土手と土手の間の河道内では、普段水が流れている流路(これをみお筋と言う)は浸食によって深掘れが進み、以前の河床面との間に落差をうんでいる。普段は水が流れない旧河床面に雑草や樹木が生い茂る光景は、その辺りの河川ではどこでも見られ、それは洪水時の流水能力を阻害する要因となる。また、河床低下は堤防法尻の強度不足につながることも懸念され、河床の下に埋まっていた橋脚の基礎部分露出する心配もでてきた(例えば木次町中心部に近い久野川に架かる木次橋も、架け替え前の昭和50年代にはすでに基礎部分が露出していた。さまざまなコンクリート建造物の劣化が問題視されるようになった今、国土交通省は平成25年を「メンテナンス元年」と位置付け、老朽化の進む河川管理施設の長寿命化計画をすすめることとなった。パトロールも行われているが、予算的にも人員的にも限界がある。我々市民も、生活圏内の河川状況を眺めながら、問題を感じたら行政当局に知らせる自助努力も必要ではないだろうか。



「うんなん幸あり月」 10月12日～11月30日

三高にも幸多からんことを期待します



日	曜	学校行事等	部活等
1	土	しまね教育の日 3年進研・駿台M模試	↑ 剣道
2	日	3年大学別々模試	↓ J.R.C
3	月	文化の日	
4	火	人権・同和教育LHR(全学年)	
5	水	雲南地区高体連体育大会、SC	
6	木	看護医療ガイダンス 県教委訪問指導	↑ 卓球
7	金		↑ バスケ
8	土	出校日 地域でつなぐキャリア教育推進事業「教育フェスタ」 1年授業『大学』 2年課題研究中間発表 3年代ゼミセンターPM模試(放)	
9	日	第2回英検2次 3年代ゼミセンターPM模試	
10	月	11/8の代休日 PTAキャンパスツアー	
11	火	1年アカデミック・インターシップ(広島大学訪問)	
12	水		放送
13	木	2年進研学テ	
14	金	1年進研学テ 中高連絡会	↑ 自然科学
15	土		↑ ソフトボール
16	日		↑ 女バレー
17	月		
18	火	三刀屋高校説明会(中学3年保護者向け)	
19	水	6限授業	
20	木	8限授業 期末試験発表	
21	金	1年保護者進路ガイダンス ロード走補充(放) 閉寮	
22	土	学校開放	
23	日	勤労感謝の日	
24	月	振替休日 閉寮	
25	火		
26	水	月曜日の授業 ロード走補充(放)	
27	木	期末試験1日目	
28	金	期末試験2日目	
29	土	学校開放 県P連合同研修会	
30	日		
1	月	期末試験3日目	
2	火	期末試験最終日	
3	水		
4	木		
5	金	↑ 3年全統PM	
6	土	↓ 土曜補習	
7	日		



※ 終業式は12月19日(金)

平成26年10月4日(土)

本校体育館

○記念式典

13:30~14:20

○記念講演

14:30~16:20

ありがとうございました

90周年記念式典



生徒代表あいさつ
2年 上田航平
(後期生徒会長)

御礼



10月4日(土)の午後、学校創立90周年を祝う記念式典を、学校後援会会長/速水雄一様(雲南市長)をはじめ来賓多数のご臨席を賜って本校体育館で開催しました。恩田校長は式辞の中で、大正13年に県立三刀屋中学校として開校以来の90年の歴史を振り返りながら、地域と先輩諸氏からいただいたご支援に感謝しつつ、今後の更なる飛躍を誓いました。錦織良成氏の記念講演に続き、夕刻からは三刀屋のアスバルを会場に、卒業生会(雲南会)を中心とする祝賀会も催されました。

記念講演

演題 「島根は最先端
ふる里を誇りに映画を撮る」

講師 錦織 良成氏
(映画監督、脚本家)



記念式典に続く講演では演題の通り、映画監督の錦織良成氏に熱くふるさと島根を語っていただきました。これまでに手掛けた映画の制作裏話や準備中の「たたら侍」にかける思いは、いずれもふる里島根、ふるさと雲南に生活する我々への大きなエールとも感じられました。EXILE登

さんこう 三高90年物語

5回 応援歌七番(昭和32年制定)

戦前からの応援歌は何種類もあったが、いつしか成立順とは異なる番号が付けられていた。



- 一 緑かがよう 丘を行き
ああ雲南の 高台に
友愛匂う 我が母校
三高 三高 三高
世紀を担うもの
- 二 赤胴の胸 陽を受けて
おきたえたる その技の
精鋭集う 我が母校
三高 三高 三高
世紀を担うもの
- 三 希望の歌は山をぬい
開け若人の 胸の声
勝利かがやく 我が母校
三高 三高 三高
世紀を担うもの
- 四 清冽遠き 川波に
見よ 三刀屋城 影深く
歴史は映ゆる 我が母校
三高 三高 三高
世紀を担うもの

新制三刀屋高校誕生後も、しばらくは戦前の軍国調的応援歌が歌われていたが、やがて新応援歌が生徒・教職員を対象に募集され、応募8作品の中から文芸部員の伊達耕司さん(ペンネーム三戸耕司)さんの「緑かがよう丘を行き」が採用され、その後歌い継がれる「応援歌七番」(当時の呼称)となった。作曲は講師の堀江道隆先生が担当し、以前の応援歌と比べると明るく軽快な旋律となった。その誕生は、恩田現校長の生年と同じ昭和32年のことである。校長が各種集会の際にたびたび応援歌を熱唱披露するのは、応援歌の申し子だったからか?

場のサプライズ映像もあり、生徒もふるさと島根を見つめないでしようか。

【講演の感想】
▼島根は何もなくてつまらない所だと、ずっと思っていました。しかし、錦織監督の講演を聞き、その考えも少し変わりました。島根には都会にないものがあり、それを誇るべきだと感じました。フランスの街並みは石を持ってくれば作れるが、日本の自然は何千、何百年もの時を過ぎなければ出来ないものであり、こちらの方がすごいという話は衝撃を受けました。いつも僕はTVで流されているものばかりで、今日の講演を聞いて、もっと日本の自然を深く考えていこうと思いました。(3年)

▼「島根は最先端」最初は正直何を言っているのかと思っていました。話を開いたり映像を見ている時には鳥肌が止まりませんでした。危うく涙も流れ落ちる所でした。

直すきっかけになったのではないのでしょうか。

した。一最上級に水がきれい、食も豊作・安全、余裕のある安心な生活、密で濃い人々、家族の関係、穏やかで明るい、けれどもそれぞれ目標・夢・目の前のあることに強い情熱を持つ人々がここにはいる。教科書に載るような長い歴史・伝説もある。今、世界の求められているものはここにある。「真の豊かさ」に近いものがここにある。かけているものがここにある。まさに最先端だと思います。(3年)

この半年の一連の取材で感じたのは、互いが夢を語りあうことの大切さ。▼錦織良成監督も錦織圭選手も大きな夢に向かって前に進み、その姿が我々にも感動を与えてくれる。▼地域づくりに夢が必要だ。夢を持つ人づくりが必要であり、夢を持つ人と人をつなぐネットワークづくりが夢実現の大きな鍵になることだろう。▼県西部の某JA組合長は「農業を取り巻く環境が厳しいが、リーダーとして今何が求められているか?」とマスコミから問われると、「夢を語ることだ。」と即答した。▼夢を描きにくい時代だとすれば、夢を描くための仕掛けづくりが必要になる。地域を挙げてキャリア教育に取り組み雲南市と三高総合学科は、夢を描くためのきっかけ作りを支援している。(編集長記)